



江の川だより

2026.2
第32号

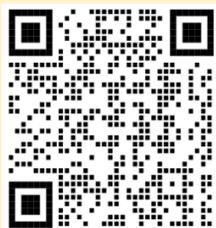
－みんなで取り組む江の川の流域治水－

■流域治水進めています！！～川越地区に浸水センサーを設置します～

気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化等を踏まえ、堤防などの整備のみではなく、流域全体で水害を防ぐ「流域治水」という考え方のもと、さまざまな対策を進めており、その身近な一歩として、大雨の際に浸水しやすい地区を対象として「浸水センサー」の設置を進めています。現在までに江津市渡津地区など6地区に設置しており、この度、江津市桜江町川越地区の県道日貫川本線にも「浸水センサー」を設置します。浸水センサーは、国土交通省のHPで確認できる様に整備を進めており（実証実験中）、地域の被害状況や災害対応の迅速化に寄与する予定です。

過去の江の川水系流域治水協議会に関する資料は[コチラ](#)からご確認ください。

QRコードからも確認頂けます。⇒



江の川水系流域治水協議会 WEBページ

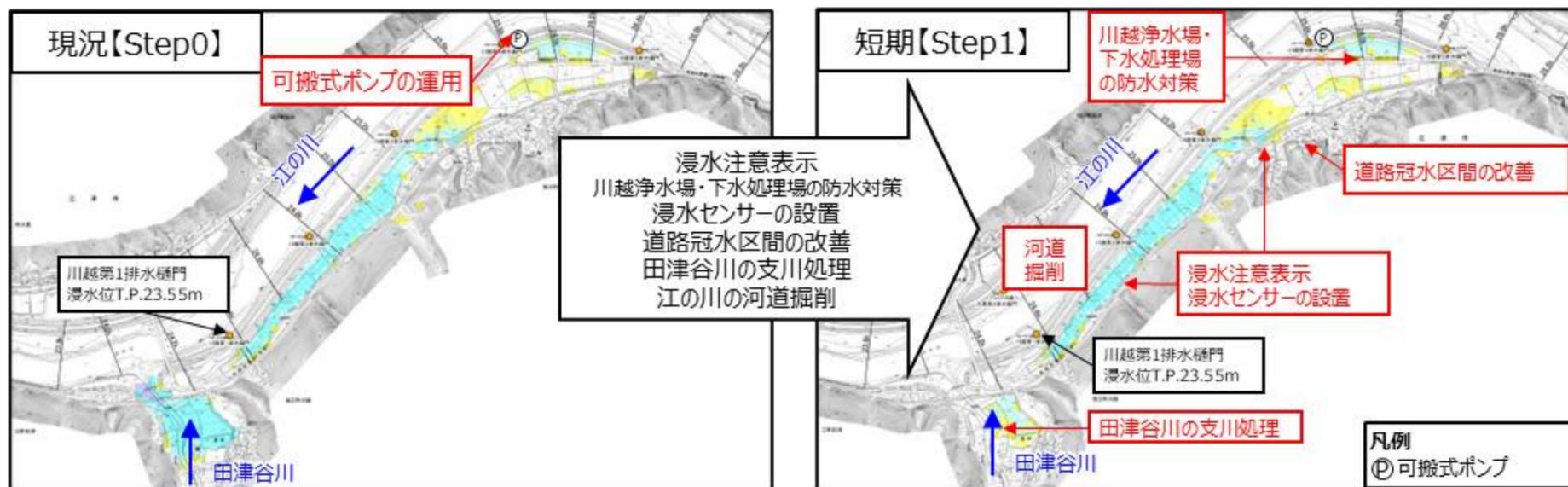
製品外観



設置する浸水センサー



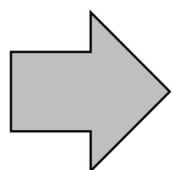
設置イメージ



川越地区における内水対策の流れ

現況の内水対策【Step0】

- 可搬式ポンプの運用（市）（運用中）



短期的（5年程度）な内水対策【Step1】

- 住民の早期避難の支援（市）
- 川越浄水場・下水処理場の防水対策（市）
- 浸水注意表示（市）
- 浸水センサーの設置（国・市）
- 道路冠水区間の改善（県）
- 田津谷川の支川処理（国）
- 江の川の河道掘削を実施（国）

■地元のみなさまの声を聞きながら設計を進めています

1月24日（土）に江津市桜江町田津地区で用地測量・調査、事業スケジュール、付替道路に関する地元説明会を行いました。今回の説明会では、新たに用地測量・調査を行う範囲・調査予定について、資料と実際に現地に設置予定の実物の杭を用いながら説明を行いました。

堤防事業に伴う付替道路の一部についても「勾配を緩くして欲しい」などの貴重なご意見を頂きましたので、可能な限り計画に反映させていきたいと思っております。

この緊急対策特定区間の事業では、治水事業の方式や構造等について、地元のみなさまの意向を確認しながら事業を進めています。



地元説明会で資料を用いながら説明する様子



田津地区の地元説明会の様子

■伐採木の無料配布を行っています

浜田河川国道事務所では、伐採木の無料配布を行っています。現在、邑智郡川本町多田地区にて、2月1日時点で雑木（2～30cm程度）を10～20本程度集積しています。

受取をご希望の方は、以下の3ステップを参考に申し込みください。

■受取を希望の方は次の3ステップで申し込みを！

ステップ1 浜田河川国道事務所『TAKUMI PROJECT』WEBページにアクセスして応募要項を確認

ステップ2 『TAKUMI PROJECT』WEBページ内の応募用紙に必要事項を記入

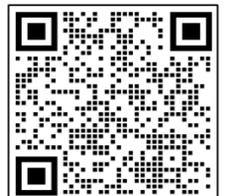
ステップ3 応募要項に記載の、最寄りの出張所に応募用紙を提出（メール、FAX、郵送、持参可）

※伐採の申込については随時受け付けています。
ネットでの申込が困難な方は出張所でも手続きが可能です。



TAKUMI Project WEBページ
はこちらから

QRコードからも
ご確認頂けます。⇒



TAKUMI Project
WEBページ

問い合わせ先

〒695-0011 江津市江津町672番地4
江の川流域治水推進室 Tel 0855-54-0377



推進室HP



浜田河川国道事務所X